

（団体名を記載） **日本電気株式会社**
（提案タイトルを記載）

【分野】 道路 / 橋梁 **公園** / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

【手法】 **コンセッション** / その他のPFI / **包括的民間委託** / その他（ ）

『パブリックスペース活性化に向けたデータ活用ロジックモデルの策定』

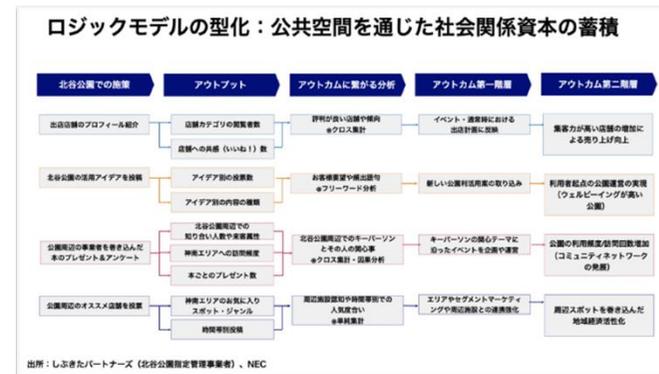
公園等の公共施設（パブリックスペース）におけるエリア価値向上や民間投資の呼び込みに繋がる、データドリブンかつ再現可能性の高い運営ビジョン（ロジックモデル）の策定を支援します

①提案によって解決する地方公共団体が抱える課題イメージ

- ・地方公共団体の課題：公園等の公共空間・施設（パブリックスペース）の有効活用のため、PFIを検討しているが、必要なデータやそれらを実行力のあるものとするためのロジックおよび交渉材料が不足
- ・想定する自治体の人口規模・面積・立地等：人口規模の多寡は問わないが、上記のような課題を抱える中で、その場所を活用したコミュニティ形成やイベントの開催などの設計やルールメイキングが可能な自治体
- ・官民連携事業の対象となる公共施設等の規模等：公園（パブリックスペース）を中心として想定し、その規模は問わないが、人流の活性化が認められ、住民や来街者とのコンタクトポイントが創出できる環境であること

②提案の概要

- ・提案の概要：公共空間・施設におけるエリア価値向上に繋がるEBPM（ロジックモデル）を官民共同で設計し、来訪者へのアンケートなどを通じて正確性を検証することで、当該公共空間の在り方の指針を策定
- ・提案の新規性：公共空間の持続的な価値向上シナリオについて、タッチポイントの導入による来訪者データ取得と、因果分析等のデータドリブンなロジックモデルの策定と検証により、再現性ある施設運営指針を策定
地域住民等の意見を踏まえたPPP/PFI開発の在り方検討・事前の合意形成プロセスへの活用や、開発後の持続的な運営に関する官民の評価・モニタリングを通じたエリア価値向上に寄与
- ・従来手法との比較点：公共空間における人流データ等解析などの統計手法による属性分析に留まらず、あるべき公共空間像や地方公共団体のビジョンからバックキャストした際の説得力ある道筋を導出できる
- ・提案の導入条件（期間、コストなど）：各対象施設におけるタッチポイントの導入およびロジックモデル設計などのコンサルティング工数を想定。周辺環境調査やデータサンプルの取得期間として半年前後の期間を想定



③課題解決のイメージ・効果

<各種効果>

- ・自治体への効果：ロジックに基づいた運営指針の策定・民間投資や民間委託に繋がる呼び水
- ・地域企業（民間企業）への効果：再現可能性が高い運営モデルへの参画（リスク低減・投資回収）
- ・地域住民への効果：活力ある公共空間創出による各種価値の享受（イベント開催・コミュニティ形成等）

その他

- ・本提案取り組みはデジタル田園都市国家構想実現会議にて事例として取り上げ
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital_denen/dai15/01_oota.pdf
- ・公共施設を活用した住民向け民間サービス事業を検討する自治体様へご提案（ご相談展開中）